

【 検査 】

812 ヘパリンナトリウム（ロック製剤）（内分泌負荷試験時）の算定について

《令和8年4月30日》

○ 取扱い

D287 内分泌負荷試験時に対する静脈内ルート確保のためのヘパリン（ヘパリンNaロック用10U/mLシリンジ10mL等のロック製剤）の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

内分泌負荷試験は、負荷薬剤の投与後、時間をおいて複数回の採血を行い検査するものである。採血のルートとして、持続的に血管内にカテーテルを留置した場合、カテーテル内での血栓形成が危惧される。血液凝固阻止作用を有するヘパリン（ヘパリンNaロック用10U/mLシリンジ10mL等のロック製剤）の留置ルート内充填は凝血抑止に有用である。

以上のことから、内分泌負荷試験時に対する静脈内ルート確保のためのヘパリン（ヘパリンNaロック用10U/mLシリンジ10mL等のロック製剤）の算定は、原則として認められると判断した。